

## エゾシカワーキンググループ経過報告・今後の予定

## 1 H21シカ年度 第1回エゾシカワーキングの概要（平成21年6月25日開催）

## (1) 主な議題

- ・H20シカ年度の実施結果等の報告
- ・エゾシカ密度操作実験の中間評価と今後の進め方
- ・H21シカ年度の実行計画の検討
- ・エゾシカ関連中長期モニタリングと評価指標

## (2) 知床岬における密度操作実験の実施結果

- ・H20シカ年度は、3年計画の2年目としてメス成獣120頭以上の捕獲を目標。
- ・11月から5月までに、大人数による日帰り捕獲を9回実施。
- ・希少猛禽類に配慮した対応と影響についてのモニタリングを実施。
- ・流氷明け直後の捕獲が実施できなかったことや捕獲効率の低下が見られた。
- ・捕獲数は以下の表のとおりであり目標には到達できなかった。

	H20シカ年度	(参考)H19シカ年度
メス成獣捕獲頭数	76	89
総捕獲数	122	132

## (3) 知床岬の密度操作実験の中間評価と今後の密度操作実験について（別添資料参照）

- ・知床岬の実験では、2シーズン連続で捕獲目標頭数に至らなかったことから、現在の手法では当初の目標である越冬個体数の半減は難しい。
- ・植生の視点からの評価も加えて中間評価を実施すべき。
- ・そのため、3年目の今年度は、これまでの手法による密度操作実験は実施しない。
- ・知床岬における新たな手法の試行について検討するとともに、次期候補地における課題と解決策についても整理。
- ・これらをもとに、次回WGにおいて、今年度を含めた密度操作実験の対応について検討。

## (4) 中長期モニタリングと評価指標

- ・モニタリング項目数は減らさず、簡便化、プロット数の減などにより効率的に対応する方向で検討。

## 2 今後の主な予定

平成21年10月頃 第2回エゾシカワーキング

- ・密度操作実験の中間評価と今後の密度操作実験が主要検討課題